



全国学力・学習状況調査の結果及び分析・方策について①

3年生が4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果及び分析・今後の方策について報告させていただきます。なお、国ではこの調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面にすぎないと説明していますが、湯梨浜中学校では結果を参考にしながら学びの質を向上させていきたいと考えています。

正答率%	国語	数学
本校	56	52
鳥取県	57	50
全国	58.1	52.5
全国との比較	-2.1	-0.5

【教科に関する調査をうけて】

右上の表のように、全体の正答率では国語が県平均、全国平均より少し低く、数学が県平均より少し高く、全国平均より少し低いという結果でした。ただし、学校・県の数値は小数を四捨五入して整数値のみが公表されています。

<国 語>

全体の平均正答率は、全国・鳥取県の数値ともに下回る結果であった。「知識・技能」に関わる問題の平均正答率は全国・県とほぼ同じであったが、「思考・判断・表現」に関わる問題の平均正答率が全国・県を下回っていた。「思考・判断・表現」に関わる問題の中でも「話すこと・聞くこと」の領域において、全国と比較して－7.1ポイント、県と比較すると－4.4ポイントと平均正答率の低さが目立った。この領域の問題として今回の調査では【必要に応じて質問しながら話の内容を捉える趣旨のもの】と、【資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す趣旨のもの】、【話し合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめる趣旨のもの】が出題されていた。このうち【話し合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめる趣旨のもの】以外の問題において平均正答率が全国・県を下回っていた。以前から引き続き、学年としての課題とされていた語彙の少なさが調査結果に現れていると思われる。必要に応じて自らの持つ語彙の中から適切な語句を選択していかなければならないのだが、そもそもの語彙が不足していると考えられる。そこで、様々な言葉に触れさせ、語彙を増やしていくためにも、教科書で扱われている新出語句を丁寧に扱っているところである。また、意味調べをして終わりではなく、生徒が新出語句を自分なりに活用して文に取り入れる場面を設定していきたいと考えている。生徒の持つ語彙の量にはばらつきがあることも想定されることから、低学年の語句ほど、新出語句以外についても確認しながら授業を進めていく必要があると思われる。質問紙（裏面参照）では、「国語の勉強は好きだ」、「どちらかといえば好きだ」と答える生徒の割合は67.3%であり、その割合は全国、鳥取県と比べて少し高かった。また、すべての項目が全国、鳥取県の平均を上回っており、今後も充実した国語教育を行っていききたいと考えている。その中でも、「国語の授業はよくわかりますか」、「国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか」、「国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文

教科	分類		区分	平均正答率(%)		
				湯梨浜中	鳥取県	全国
国語	全 体			56	57	58.1
	学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	58.6	56.7	59.2
			(2)情報の扱い方にに関する事項	57.6	58.6	59.6
			(3)我が国の言語文化に関する事項	77.2	79.8	75.6
		思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	51.7	56.1	58.8
			B 書くこと	63.4	64.3	65.3
			C 読むこと	47.6	46.2	47.9
	評価の観点	知識・技能	61.4	61.2	62	
		思考・判断・表現	52.5	53.5	55.4	
		主体的に学習に取り組む態度				
	問題形式	選択式		60.1	59.7	61
		短答式		59.8	59.6	61.8
		記述式		40.2	44.1	45.5

（裏面に続く）

章を書いていますか」という質問については、全国平均を大きく上回っていた。

<数 学>

全体の平均正答率は、全国と比べると少し低いが、鳥取県よりは少し高い結果であった。評価の観点別では、「知識・技能」の観点は県よりも3ポイント、全国よりも0.5ポイント高いが、「思考・判断・表現」は県よりも0.3ポイント、全国よりも2.3ポイント低い結果になった。「データの活用」の領域は、鳥取県、全国よりも2ポイント以上高いという結果だった。それ以外の単元は、鳥取県より高いが、全国よりも低かった。県、全国両方の平均よりも低い結果になった問題は、文字式の証明と式やグラフを用いて説明する問題であった。それらを踏まえて、今後の授業では、データをまとめたり、ある事象をいろいろな表現を用いて説明したりするような場面設定を取り入れ、基本的な計算だけでなく、より深い数学的な理解を促していくような授業を展開していきたい。また、「このデータが表していることは何か？」などについて、根拠をもとに式、表、グラフなどを用いて表現するような活動も取り入れていきたい。そんな学習を通して、数学的な知識を獲得して

いく授業構成、単元構成を目指していきたいと考えている。質問紙では、「数学の勉強は好きだ」、「どちらかといえば好きだ」と答える生徒の割合は50%くらいで、その割合は鳥取県や全国に比べてかなり低い結果であった。また、「数学の授業はよく分かりますか」、「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」、「数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか」という質問で肯定的な回答をした生徒の割合も、鳥取県や全国に比べて

低い結果で、日々の生活、授業の中で、数学の必要性や学ぶ意味・意義が感じられていないことがわかる。質問紙の結果より、数学の必要性や学ぶ意味・意義が感じられていない生徒が多いことから、日々の授業や単元の導入時において、数学と生活との関わりを具体的に示しながら、かつ、それによってどのような力がつくのかを生徒に伝えていきたいと考えている。

1 学期反省アンケート（保護者）記述内容への返答

（意見）食育に力を入れるべきだと思います。パンやソフト麺等の、バラエティに富んだ給食をお願いしたいです。

（回答）食育に関しては2名の学校栄養職員が、湯梨浜中、羽合小、東郷小を掛け持ちしながら掲示や映像などを利用して様々な食育活動を行っています。メニューに関しても、昨今の材料費高騰を受け、これまでの給食を保持するのが大変な状況ではありますが、生徒たちのために様々な業者を利用して頑張っているところです。ご意見の中のパンについては、急な臨時休校、学級閉鎖に対応できるパン屋がなく、ソフト麺についても県内には販売している製麺所がない状況です。ご理解ください。

<教科に関する質問紙の結果>

【国語】

肯定的回答が全国平均をかなり（5%以上）上回った項目

◎国語の授業の内容はよくわかりますか。

◎国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか。

◎国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか。

肯定的回答が全国平均をかなり（5%以上）下回った項目

なし

教科	分類	区分	平均正答率(%)		
			湯梨浜中	鳥取県	全国
数 学	全 体		52	50	52.5
		A 数と式	50.3	47.4	51.1
		B 図形	38.6	37.3	40.3
		C 関数	59.6	58.6	60.7
	学習指導要領の領域	D データの活用	57.2	54.9	55.5
		知識・技能	63.6	60.6	63.1
		思考・判断・表現	27.0	27.3	29.3
		主体的に学習に取り組む態度			
	評価の観点	選択式	57.8	56.7	58.5
		短答式	68.4	63.8	67
		記述式	27.0	27.3	29.3

<教科に関する質問紙の結果>

【数学】

肯定的回答が全国平均をかなり（5%以上）上回った項目

なし

肯定的回答が全国平均をかなり（5%以上）下回った項目

▲数学の勉強は好きですか。 ▲数学の授業はよく分かりますか。

▲数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

▲数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか。

